

2021年11月4日

**アクリル樹脂板「アクリライト™」シリーズから
抗ウイルス・抗菌グレード「アクリライト™ BX」を発売**

三菱ケミカル株式会社
三菱ケミカルメタクリレーツ株式会社
三菱ケミカルインフラテック株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之）およびそのグループ会社である三菱ケミカルメタクリレーツ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：佐々木 等）、三菱ケミカルインフラテック株式会社（本社：東京都千代田区、社長：福居 雄一）は、アクリル樹脂板「アクリライト™」シリーズから抗ウイルス・抗菌グレード「アクリライト™ BX」を本年11月に発売しました。なお、本製品は抗ウイルス、抗菌の2つでSIAAマーク※¹を取得しています。

アクリライト™は高い透明性と耐候性、優れた加工性を特長とするアクリル樹脂板で、1971年の生産開始以来、建材、照明、看板など幅広い用途で使用されています。また昨今では、飛沫感染防止用の需要が世界各地で増加しています。

今般発売する抗ウイルス・抗菌グレード「アクリライト™ BX」は、アクリライト™が持つ透明性はそのままに、表面に抗ウイルスおよび抗菌加工※^{2、3}を施した、安心・安全で清潔感のあるアクリル樹脂板です。耐薬品性にも優れており、一般的なエタノールや次亜塩素酸ナトリウム等の消毒剤を用いて拭き掃除を行っても、外観が保持できます※⁴。これらの特長を活かし、医療機関や検査機関、宿泊・介護施設、飲食店などへの展開を目指しています。

当社グループは今後も、市場や顧客の様々なニーズに対応すべく、アクリライト™シリーズの開発・展開を進めてまいります。

- ※1 SIAAマークは、ISO21702法により評価された結果に基づき、一般社団法人抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
- ※2 製品上の特定のウイルスの数を減少させます。すべてのウイルス・菌に効果を保証するものではありません。
- ※3 抗ウイルス・抗菌加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- ※4 弊社での試験結果であり、使用状況によっては影響を及ぼす恐れがあります。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

三菱ケミカル株式会社 広報本部
TEL:03-6748-7161

【製品に関するお問い合わせ】

三菱ケミカルインフラテック株式会社 機能素材部 営業1グループ
TEL:03-6748-7349

次ページにて、抗ウイルス・抗菌性能試験の結果をまとめております。

アクリライト™ BXはSIAA認証を取得しています。

SIAA：一般社団法人 抗菌製品技術協議会



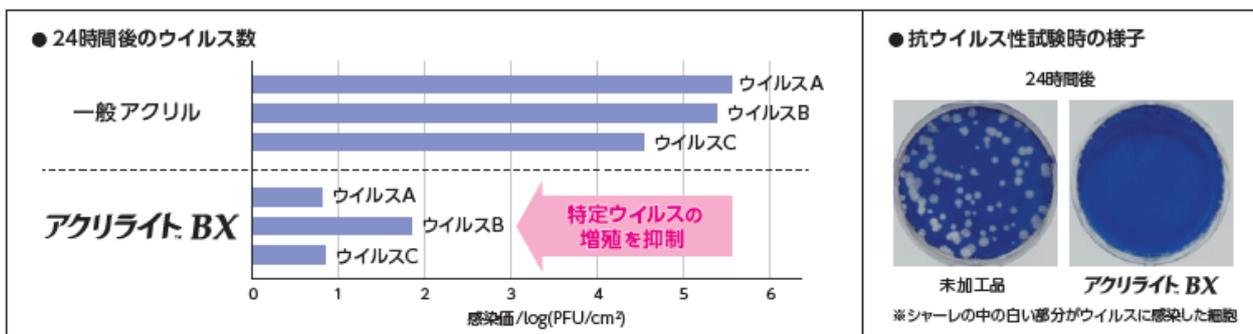
SIAAマークは、抗ウイルスISO21702 / 抗菌ISO22196法により評価された結果に基づき、
 抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
 【注意事項】※抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません
 ※SIAAの安全性基準に適合しています

抗ウイルス性能

24時間後のウイルス数を比較

試験法：ISO21702に準拠（SIAAの登録要件に則した試験法）

※試験結果は保証値ではありません


耐薬品性
耐薬品性試験

試験法：耐薬品性 1/4楕円法による応力下でのクレーズ発生状況で判定（常温・製品表面）

薬品名	外観変化
エタノール ^{※1}	なし
塩化ベンザルコニウム0.05%溶液 ^{※2}	なし
次亜塩素酸ナトリウム0.05%水溶液	なし

※1 エタノール成分を約70%含んだジェル状液で確認した結果です。
 ※2 水/エタノール溶液での結果です。
 ※何れも、製品表裏面についての性能であり、切断面、端面の性能ではありません。
 ※上記一定条件下での試験であり、条件が異なる場合試験結果が異なります。
 ※消毒用アルコールでの清掃は、製品端部にクレーズ（微小なひび割れ）を生じさせる可能性があります。
 消毒用アルコールでの清掃が必要な場合は、直接吹きかけたり、長時間接触させたりせず、
 アルコールを含んだ布で端部に極力触れないように表面のみを拭くことをお勧めします。


物性

項目	試験方法	単位	値
全光線透過率	JIS K 7361-1:1997	%	89
ヘーズ	JIS K 7136:2000	%	1.5

※数値は代表値であり保証値ではありません。※数値は無色透明板の場合に限ります。

仕様

アクリライト™ BX シリーズ
 抗ウイルス・抗菌仕様：両面
 品名：アクリライトBX251
 板厚：3mm/5mm

ご使用上の注意

※製品上の特定のウイルスを減少させます。
 ※すべてのウイルスに対して効果を保証するものではありません。
 ※アクリライト™は他の多くのプラスチック製品と同じように可燃性の性質を有しており、着火源があれば燃えます。
 火元から離れていても落下したり倒れたりした場合に着火源に接触すると燃える恐れがございます。
 周りに火の気がある環境ではご使用にならず、安全性を十分にご配慮いただいた上でご使用いただけますようお願いいたします。